

2025年度 一般選抜

日本史

〈文学部全学科共通問題〉

1月26日実施 B日程

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の冊子を開かないでください。
2. 本冊子には、12ページの問題文があります。
3. 解答用紙は、すべてマーク・シートになっています。
4. 監督者の指示で、受験番号欄に受験票に記載されている受験番号（数字6桁）を縦に記入し、それぞれ右のマーク欄にマークしてください。受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。氏名欄に氏名も忘れず記入してください。
5. 解答科目欄には、解答する科目を1つ選び、マークしてください。
6. 解答は、設問の箇所に指示されている解答番号の解答欄にマークしてください。例えば、と指示されている設問に対して、③と解答する場合は、次の例のように解答番号20の解答欄の③にマークしてください。

(例)

解答番号	解 答 欄									
20	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

7. 解答番号は～です。
8. マークは、硬度HB以上の鉛筆を使用し、訂正する場合は消しゴムでていねいに消し、消しくずを残さないように注意してください。
9. 解答時間は、60分です。

問題 I

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

9世紀末から10世紀にかけて地方政治が大きく変化していく中、地方に土着した国司の子孫や地方豪族は勢力を維持・拡大するために武装し、争いを起こすようになった。その鎮圧のため押領使や（ A ）に任じられた中・下級貴族の中には、そのまま国衙で実務をとる（ B ）などになって現地に残り、有力な武士となる者が現れた。彼らは（ C ）などの一族や郎等（郎党・郎従）などの従者を率いて、地方において力を振るうようになった。やがてこれらの武士たちは武士団を形成するようになっていった。

東国では、^a平将門が一族間の争いを繰り返していたが、やがて国司と対立するようになり、939（天慶2）年には反乱に発展した。朝廷は征討軍を派遣したが、その到着前に同じ東国武士である（ D ）や藤原秀郷らによって将門は討たれた。同じ頃、もと伊予の国司であった（ E ）も海賊を率いて反乱を起こし、伊予の国府や大宰府を襲撃したが、^b源経基らによって鎮圧された。これらの乱の平定での活躍をきっかけに、代々武名と武芸を継承する兵の家（^{つわもの}軍事貴族）が成立することとなった。

地方で勢力をのぼし、武士団として成長していった武士たちは、やがて中央貴族の血筋を引く源氏や平氏を（ F ）と仰ぐようになり、その結果、源平両氏は地方武士団を広く組織して大きな勢力をもつようになった。

源経基の子である源満仲やその子息は摂関家に仕え、武力で奉仕するとともに受領となって摂関家を支えた。（ G ）年、上総で平忠常が起こした反乱を、満仲の子である源頼信が平定したのをきっかけとして、源氏が東国へ進出していった。また、陸奥では強大な勢力をもっていた豪族安倍氏が国司と争っていたが、11世紀半ば、陸奥守兼鎮守府将軍となって任地に下った（ H ）と子の義家は東国武士を率いて安倍氏と戦い、出羽の豪族清原氏の助けを得て安倍氏を

滅ぼした。これを（ I ）という。その後、清原氏一族に内紛が起こり、陸奥守であった義家が介入して藤原（清原）清衡^cを助けて内紛を平定した。これらの戦いを通じて源氏は東国武士団との主従関係を強め、武士の（ F ）としての地位を固めた。

一方、桓武平氏、なかでも伊勢・伊賀を地盤とする伊勢平氏は院と結んで発展した。平正盛は伊賀国の荘園を白河上皇に寄進して政界進出の基礎を築き、反乱を起こした源義親を討って武名をあげ、受領や検非違使となって伊勢平氏の地位を高めた。その子の忠盛は瀬戸内海^dの海賊平定などで鳥羽上皇の信任を得、また昇殿を許され、院近臣として重く用いられるようになった。忠盛の子の清盛は平氏の勢力をさらに飛躍的にのぼした。

鳥羽法皇が死去すると、皇位継承をめぐる対立や摂関家継承をめぐる対立が表面化し、その争いに武士が動員されて（ J ）が起こった。武士が政争に使われたことで時代の大きな転換を人々に印象づけることになり、摂関家出身の僧慈円はその著書の中で、これ以後「武者の世」になったと記している。

さらに、院政を始めた後白河上皇の近臣間の対立から乱が起こり、敗れた源義朝の子の（ K ）は伊豆に流された。

1 空欄（ A ）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 按察使 ② 勘解由使 ③ 追捕使 ④ 検田使

2 空欄（ B ）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 在庁官人 ② 遙任国司 ③ 在京官人 ④ 知行国主

3 空欄（ C ）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 舍人 ② 所従 ③ 下人 ④ 家子

4 下線部 a の人物は常陸・下野など東国の大半を支配下におき独立をはかったが、その際、自称したとされる称号は何か。最も適切な語句を次の①～④

の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 天皇 ② 国王 ③ 新皇 ④ 大將軍

5 空欄 (D) に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 藤原信賴 ② 平貞盛 ③ 藤原純友 ④ 平忠正

6 空欄 (E) に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 藤原信賴 ② 平貞盛 ③ 藤原純友 ④ 平忠正

7 下線部 b の人物が祖となった家系として最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 宇多源氏 ② 清和源氏 ③ 村上源氏 ④ 嵯峨源氏

8 空欄 (F) に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 棟梁 ② 大將軍 ③ 惣領 ④ 親方

9 空欄 (G) に入る最も適切な年を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 1007 ② 1016 ③ 1019 ④ 1028

10 空欄 (H) に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 源頼光 ② 源頼義 ③ 源為義 ④ 源頼朝

11 空欄 (I) に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 前九年の役 (前九年合戦) ② 後三年の役 (後三年合戦)
③ 保元の乱 ④ 平治の乱

12 下線部 c の人物は、このあと、奥羽地方で勢力をのばし、奥州藤原氏の基礎を築く。奥州藤原氏に関する説明として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 奥州藤原氏は平泉を根拠地として、清衡・基衡・秀衡の三代にわたって

繁栄した。

- ② 奥州藤原氏は後に、源義経をかくまったとして源頼朝に滅ぼされた。
- ③ 奥州藤原氏が平泉に建立した中尊寺金色堂には、清衡・基衡・秀衡のほか、源義経の遺体が納められている。
- ④ 奥州藤原氏は京の文化を移入するとともに、北方の地と交易を行い、独自の文化を育てた。

13 空欄（ J ）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 前九年の役（前九年合戦） ② 後三年の役（後三年合戦）
- ③ 保元の乱 ④ 平治の乱

14 下線部 d の著書として、最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 『愚管抄』 ② 『吾妻鏡』 ③ 『源平盛衰記』 ④ 『読史余論』

15 空欄（ K ）に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 源頼光 ② 源頼義 ③ 源為義 ④ 源頼朝

問題Ⅱ

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

江戸時代には参勤交代や産業の発達にともない陸上交通の整備が進められるようになった。これにより江戸を起点とする五街道^aや脇街道（脇往還）の整備がなされ、江戸・大坂・京都などの主要な都市と各地とを結ぶ幹線道路が整えられたのである。そして、主要な街道には各所に宿駅（宿場）が設置された。各宿駅（宿場）においては、年寄、帳付などの宿役人が継立業務を行う（ A ）も設置された。

また、河川舟運の整備も各地でなされるようになった。たとえば、角倉了以^bにより、富士川や(B)の開削がなされたことは有名である。海運では、東廻り航路(海運)^cや西廻り航路(海運)が整備され、これらによって江戸や大坂への米を中心とする様々な物資の輸送が盛んになされるようになったのである。

幕府は新田開発をさかんに奨励したため、それに伴って農業技術も向上していき、田畑の開墾や稲の収穫などの農業技術が開発されたり、改良がなされるようになった。たとえば、深耕用の備中鍬や脱穀のための(C)などがあげられる。そして、農業が盛んになるにつれて、それに使われる肥料も多量に必要とされるようになり、それまでの堆肥だけでは不足するようになった。そこで、金銭で肥料を購入するようになった。これを金肥^dという。また、農作物の栽培技術や、それ以外に農業に従事するうえで必要な知識を紹介した農書^eが次々に著された。そして、農村の復興に尽力し、勤労や儉約を中心として事業を行うような報徳仕法を実践する者も現れた。

一方、漁業においても網漁による改良がなされ、沿岸の漁場の開発が以前にもまして盛んになった。たとえば、上総国の九十九里浜の地曳網による(D)はよく知られている。そして各地では諸産業が発達するようになり、下総国の野田や銚子では(E)の製造が盛んになされるようになった。また、瀬戸内海では、潮の干満を利用し、しかも高度な土木技術を必要とする製塩法が開発され、これにより良品質の塩が大量に生産できるようになったのである。さらに、測量や商取引が盛んになると和算が発達し、(F)は筆算式代数学の基礎を確立した。

諸国の産業が発達し、米や、その他のさまざまな産物・商品が三都(江戸・大坂・京都)に送られてくるようになった。とりわけ大坂^fは「天下の台所」と称されるほど、全国の物資の集散地となったのである。

8代将軍吉宗の時代には本草学が盛んになった。この頃、本草学者で蘭学者でもある(G)は、救荒作物として甘藷の栽培を奨励した。また、吉宗はキリスト教関係以外の漢訳洋書の輸入緩和をするとともに、学者にオランダ語を学ばせた。その後、蘭学が次第に盛んとなり、西洋医学の解剖書を翻訳するグループ^gも現れ、彼らは(H)年にその成果を『解体新書』として完成させた。

16 下線部 a の江戸幕府が整備した五街道の組み合わせとして最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 東海道 中山道 伊勢街道 北国街道 奥州道中
- ② 東海道 中山道 北国街道 日光道中 甲州道中
- ③ 東海道 中山道 東山道 伊勢街道 甲州道中
- ④ 東海道 中山道 日光道中 甲州道中 奥州道中

17 下線部 a の五街道の一つである東海道に設置された関所として最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 碓氷関 ② 箱根関 ③ 栗橋関 ④ 小仏関

18 空欄 (A) に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 問屋場 ② 本陣 ③ 本所 ④ 駅家

19 下線部 b の角倉了以は朱印船貿易家でもあったが、次のうち朱印船貿易家は誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 田中勝介 (勝助) ② 支倉常長
- ③ 茶屋四郎次郎 ④ 山田長政

20 空欄 (B) に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 利根川 ② 高瀬川 ③ 大井川 ④ 木曾川

21 下線部 c を整備したのは誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 河村瑞賢 (瑞軒) ② 末吉孫左衛門
- ③ 後藤庄三郎 ④ 紀伊国屋文左衛門

22 下線部 c だけでなく、1619年に堺商人が始めたとされる大坂と江戸間の定期船も整備された。これを何と言うか。最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 内海船 ② 北前船 ③ 樽廻船 ④ 菱垣廻船

23 空欄（ C ）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 唐箕 ② 千石筵^{せんごくとおし} ③ 唐臼 ④ 千齒扱^{せんばこき}

24 下線部 d にあてはまらないものは何か。最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 鯨油 ② 油粕 ③ メ粕 ④ 干鰯

25 下線部 e の中で、『農業全書』を著わした人物は誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 宮崎安貞 ② 大原幽学 ③ 大蔵永常 ④ 田中丘隅

26 空欄（ D ）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① かつお漁 ② にしん漁 ③ いわし漁 ④ まぐろ漁

27 空欄（ E ）に入る適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 味噌 ② 醤油 ③ 酢 ④ 酒

28 空欄（ F ）に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 貝原益軒 ② 関孝和 ③ 渋川春海（安井算哲） ④ 吉田光由

29 下線部 f では、さまざまな「市」がたっていたが、雑喉場^{ざごぼ}で開かれた「市」は何か。最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 青物 ② 米 ③ 魚 ④ 牛

30 空欄（ G ）に入る最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 宇田川玄隨 ② 稲村三伯 ③ 青木昆陽 ④ 稻生若水

31 下線部 g の翻訳作業において、中心的な役割を果たした学者は誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 新井白石 ② 大槻玄沢 ③ 緒方洪庵 ④ 杉田玄白

32 空欄（ H ）に入る最も適切な年を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 1774 ② 1778 ③ 1783 ④ 1787

問題Ⅲ

次の史料を読んで、後の問いに答えなさい。

[史料Ⅰ]

第二条 露西亞^{ロシア}帝国政府ハ、日本国カ（ A ）ニ於テ政事上、軍事上及經濟上ノ卓絶ナル利益ヲ有スルコトヲ承認シ、日本帝国政府カ（ A ）ニ於テ必要ト認ムル指導、保護及監理ノ措置ヲ執ルニ方リ、之ヲ阻礙シ又ハ之ニ干涉セザルコトヲ約ス……

第五条 露西亞帝国政府ハ、清国政府ノ承諾ヲ以テ、旅順口、大連並其ノ附近ノ領土及領水ノ（ B ）及該（ B ）ニ関連シ又ハ其ノ一部ヲ組成スル一切ノ權利、特權及讓与ヲ日本帝国政府ニ移轉讓渡ス……

（『日本外交年表竝主要文書』）

[史料Ⅱ]

一 韓国政府ハ日本政府ノ推薦スル日本人一名ヲ（ C ）顧問トシテ韓国政府ニ傭^{ようへい}聘シ（ C ）ニ関スル事項ハ総テ其意見ヲ詢ヒ施行スヘシ

一 韓国政府ハ日本政府ノ推薦スル外国人一名ヲ（ D ）顧問トシテ外部ニ傭^{ようへい}聘シ（ D ）ニ関スル要務ハ総テ其意見ヲ詢ヒ施行スヘシ

一 韓国政府ハ外国トノ条約締結^{そなた}其他重要ナル（ D ）案件^{すなわち}即 外国人ニ対スル特權讓与、若クハ契約等ノ处理ニ関シテハ予メ日本政府ト協議スヘシ

（『日本外交年表竝主要文書』）

[史料Ⅲ]

第一条 日本国政府ハ在東京外務省ニ由リ今後韓国ノ外国ニ対スル關係及事務ヲ
監理指揮スヘク、日本国ノ外交代表者及領事ハ外国ニ於ケル韓国ノ臣民及利益
ヲ保護スヘシ

第二条 韓国政府ハ今後日本国政府ノ仲介ニ由ラスシテ國際的性質ヲ有スル何等
ノ條約若ハ約束ヲナササルコトヲ約ス

第三条 日本国政府ハ其代表者トシテ韓国皇帝陛下ノ閣下ニ一名ノ（ E ）（レ
ヂデントゼネラル）ヲ置ク。（ E ）ハ專ラ外交ニ關スル事項ヲ管理スル為
メ京城ニ駐在シ、親シク韓国皇帝陛下ニ内謁スルノ權利ヲ有ス……

（『日本外交年表竝主要文書』）

[史料Ⅳ]

第一条 韓国政府ハ施政改善ニ關シ（ E ）ノ指導ヲ受クルコト

第二条 韓国政府ノ法令ノ制定及重要ナル行政上ノ処分ハ予メ（ E ）ノ承認
ヲ經ルコト

第四条 韓国高等官吏ノ任免ハ（ E ）ノ同意ヲ以テ之ヲ行フコト

第五条 韓国政府ハ（ E ）ノ推薦スル日本人ヲ韓国官吏ニ任命スルコト

（『日本外交年表竝主要文書』）

[史料Ⅴ]

第一条 韓国皇帝陛下ハ韓国全部ニ關スル一切ノ統治權ヲ完全且永久ニ日本国皇
帝陛下ニ讓与ス

第二条 日本国皇帝陛下ハ前条ニ掲ケタル讓与ヲ受諾シ且全然韓国ヲ日本帝国ニ
（ F ）スルコトヲ承諾ス

第六条 日本国政府ハ前記（ F ）ノ結果トシテ全然韓国ノ施政ヲ担任シ、同
地ニ施行スル法規ヲ遵守スル韓人ノ身体及財産ニ對シ十分ナル保護ヲ与ヘ且其
ノ福利ノ増進ヲ図ルヘシ

（『日本外交年表竝主要文書』）

33 史料Ⅰは、ある戦争の結果、1905年に締結された条約である。空欄（ A ）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 清国 ② 韓国 ③ 北満州 ④ 南満州

34 空欄（ B ）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 統治権 ② 外交権 ③ 領有権 ④ 租借権

35 史料Ⅰの条約の原因となった戦争は、ロシアが満州を事実上占領したことが原因の一つとなって起こったものである。ロシアが満州を占領したのはいつの時点か。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 北清事変 ② 甲申事変
③ 閔妃殺害事件 ④ ハーグ密使事件

36 史料Ⅰの条約の原因となった戦争の開戦以前の段階においては、日本はイギリスと同盟してロシアと対決すべきであるという日英同盟論と、ロシアに満州経営の自由を与えて日本は韓国に対する優越権を獲得すべきであるという日露協商論（満韓交換論）とが、当時の政府内部で対立した。この時、日露協商論を主張した人物は誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 伊藤博文 ② 山県有朋 ③ 桂太郎 ④ 小村寿太郎

37 史料Ⅰの条約の原因となった戦争に関して、キリスト教の人道主義的立場から非戦論をとらえ、この戦争の開戦に反対して『万朝報』記者を辞職した人物は誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 新渡戸稲造 ② 植村正久 ③ 新島襄 ④ 内村鑑三

38 史料Ⅰの条約の原因となった戦争に関して、開戦後に、「ああをとうとよ君を泣く 君死にたまふことなかれ」とうたう反戦詩を『明星』に発表した歌人は誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答え

なさい。

- ① 戸水寛人 ② 大町桂月 ③ 与謝野晶子 ④ 大塚楠緒子

39 史料Ⅰの条約の原因となった戦争に関して、社会主義の立場から反戦論をとまえ、開戦後も反対し続け、後に大逆事件で刑死した人物は誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 高野房太郎 ② 片山潜 ③ 安部磯雄 ④ 幸徳秋水

40 史料Ⅰの条約の原因となった戦争において、1905年5月に展開され、敵艦隊を撃破して日本の軍事上の勝利をほぼ決定づけた戦闘は何か。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 仁川港・旅順港奇襲攻撃 ② 旅順陥落（占領）
③ 奉天会戦 ④ 日本海海戦

41 史料Ⅰの条約交渉の際に、日本側の全権代表となった外務大臣は誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 井上馨 ② 陸奥宗光 ③ 小村寿太郎 ④ 青木周蔵

42 史料Ⅰの条約で賠償金が全くとれないことが判明すると国民の不満が高まり、東京で開催された講和反対国民大会が暴動に発展するという事件が起きたが、それは何か。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 血盟団事件 ② 血の日曜日事件
③ 人民戦線事件 ④ 日比谷焼打ち事件

43 史料Ⅱは、史料Ⅰの条約の原因となった戦争において、韓国に強要された第一次日韓協約（1904年）である。空欄（ C ）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 行政 ② 財務 ③ 軍事 ④ 外交

44 空欄（ D ）に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 行政 ② 財務 ③ 軍事 ④ 外交

45 史料Ⅲは、韓国の外交権を日本が奪い、保護国化した第二次日韓協約

(1905年)である。この協約に基づいて、韓国の外交を管轄して内政にも関与する日本政府の機関である(E)府が、1906年に設置された。空欄(E)に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 都督 ② 監督 ③ 総督 ④ 統監

46 1906年に設置された(E)府の初代(E)となった人物は誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 伊藤博文 ② 井上馨 ③ 山県有朋 ④ 寺内正毅

47 史料Ⅳは、韓国の内政権を日本が掌握し、同時に韓国軍隊を解散した第三次日韓協約(1907年)である。この協約が結ばれる原因となった事件は何か。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 北清事変 ② 甲申事変
③ 閔妃殺害事件 ④ ハーグ密使事件

48 史料Ⅴは、1910年に締結された条約である。史料Ⅴの空欄(F)に入る最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 合体 ② 合併 ③ 統合 ④ 併合

49 史料Ⅴの下線部 a に関して、韓国を統治するために、日本が1910年に設置した機関は何か。最も適切な語句を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 関東都督府 ② 関東監督府 ③ 朝鮮総督府 ④ 朝鮮統監府

50 史料Ⅴの下線部 a に関して、韓国を統治するために、日本が1910年に設置した機関の初代の長となった人物は誰か。最も適切な人名を次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 伊藤博文 ② 井上馨 ③ 山県有朋 ④ 寺内正毅

